

特別シリーズ (番外編)
「さくらサイエンスプラン」でインド行政官・研究者招へい ②

科学技術振興機構

第2回日印大学交流会

さくらサイエンスプランの事業を有効に推進するには、海外の送出し機関と日本の受入れ機関との連携が最も重要となる。インドの大学は、これまで欧米の大学とは太いパイプを持っているが、日本の大学との関係は、アセアン諸国や中国などの大学に比べると、パイプは細いままに留まっている。そこで科学技術振興機構(JST)では、日印の大学関係者が知り合う場を設けることの重要性に着目し、昨年に続き、1月30日にJSTにおいて第2回日印大学交流会を開催した。JSTからは多数の日本の大学に参加を呼び掛け、その結果、28の大学、



日印大学交流会終了後に記念撮影する沖村JST上席フェロー(中央⑤)や黒木JSTさくらサイエンスセンター副センター長(右端から3人目)ら

関係、民間企業などからの参加を得て貴重な交流、情報交換の場となった。(日本側参加者一覽を参照)

第2回日印大学交流会<プログラム>

場所: JST東京本部 別館

13:00	開会、歓迎挨拶: 黒木慎一JST中国総合研究・さくらサイエンスセンター副センター長
13:05	挨拶: 科学技術省 チャアマ・アワステイ科技官
13:10	インド各大学からの参加者による発表(23名)および質疑応答
15:25	休憩
15:45	日本の大学、高専からの参加者による発表(18名)および質疑応答
17:35	意見交換
17:50	総括: 黒木慎一副センター長
18:00	閉会

セッションを実施した。

インド側からは、日本の奨学金制度、入学(留学)制度などについて多くの質問が出され、日本側からは、各大学や高専などの持つ強みや、海外からの留学生受入れに対する制度・体制などについて説明がなされた。質疑応答のセッションではインド側から、日本の大学や大学院に関する情報不足に加えて、日本の留学制度や奨学金制度の分かり難さが指摘された。

また、日本語の壁についても指摘があったが、これは日本の多くのトップ大学にとって世界のトップレベルの留学生の受入れに関して依然として大きな課題となっている。さらには、日本の大学、大学院における学位取得後のキャリアパスの不透明さもインド人学生にとって大きな障害となっていることも指摘された。

インド行政官・研究者 招へいプログラム〈報告会〉

インド行政官・研究者招へいプログラムの最終日となる1月31日午後には、JST東京本部において参加者による報告会が開催された。冒頭挨拶では、JST濱口理事長からは日印間の科学技術分野における協力および人材交流の必要性が強調された。

続いて、日印友好議員連盟会長の細田博之衆議院議員より、首脳外交をはじめとした日印間の政治レベル、経済レベル等での深い協

力関係が紹介され、このために議論としても努力していく旨の決意表明が示された。

また、サンジェイ・クマール・ヴァルマ駐日インド大使館特命全

権大使は、インド政府がICT分野等の科学技術のプロモーションや起業に注力していることに触れたうえで、これらを推進するためにも日本との協力を深めるべきであることをインドからの参加者たちに呼び掛けた。

さらに、元駐印大使の谷野作太郎氏、堂道秀明氏より、日印関係の重要性と、一層の発展の必要性等が述べられるとともに、沼畑外務省地域調整官、新田文科省科学技術・学術戦略官より、さらサイエンスプランの重要性と両国の交流拡大の期待等が表明された。



谷野元駐インド大使



細田日印議員友好連盟会長



濱口JST理事長



堂道元駐インド大使



ヴァルマ駐日インド大使



報告会

報告会では、参加者から寄せられた質問や意見に丁寧に対応し、今後の交流拡大に向けた取り組みについて、両国関係者から貴重な情報や知見を得ることができた。また、これまであまり知られていなかった日本の大学の事情についても様々な前向きな情報が得られたことで、参加者各自が所属する大学に戻り、学生に対して積極的に日本留学を勧めたいという力強い発言もあつたことは、今回のインド行政官・研究者招へいプログラムの大きな成果であったと言える。

日印大学交流会 参加機関一覧	大学	秋田大学
		宇都宮大学
		東洋大学
		芝浦工業大学
		東京理科大学
		東京大学
		電気通信大学
		横浜国立大学
		東海大学
		新潟大学
		北陸先端科学技術大学院大学
		静岡大学
		名古屋工業大学
	立命館大学	
	神戸大学	
	関西学院大学	
	広島大学	
	九州大学	
	九州工業大学	
	宮崎大学	
高専	群馬工業高等専門学校	
	木更津工業高等専門学校	
	久留米工業高等専門学校	
その他	理化学研究所	
	産業技術総合研究所	
	大学改革支援・学位授与機構	